

Focus Vol.51

長洲町でキラリ輝く人たち



学ば分野は違っても互いに切磋琢磨し合える関係だという五十嵐さん（左）と鈴木さん（右）

好きなことから頑張れる 舞台芸術の夢を追いかける2人の若者



すず き あ す か
鈴木 明日香さん
(25歳 大明神)

いがらし み き
五十嵐 緑樹さん
(20歳 大明神)

ともに福島県いわき市のいわき総合高校演劇部出身。

ことし5月、ながす未来館の指定管理者である(株)舞台風への入社をきっかけに長洲町へ移住。
鈴木さんは事務や企画を、五十嵐さんは照明などの舞台技術を学んでいる。

火の国くまもとへやってきた

「熊本の第一印象は、とにかく暑いですね（笑）」と笑顔で答える2人の若者。鈴木さんと五十嵐さんはことし5月、就職をきっかけに長洲町へ移住してきた。

きっかけは、(株)舞台風代表取締役の西田和政さんが「舞台芸術関係の道を志す若者の夢を応援したい」と東日本大震災被災地出身者の雇用を構想したこと。故郷での再就職を見据えた取り組みだという。直接被災地を訪れ、2人の出身校であるいわき総合高校演劇部の顧問を介して雇用を決めた。

4月まで東京でフリーの役者をしていた鈴木さんは「違う角度から舞台を見つめ直したい」と入社を決断。「役者をしていたとはいえ、舞台に立つ側と企画する側とは全く違う。はじめてのことだらけ」という。

高校卒業後、1度は地元で就職した五十嵐さんも「やっぱり舞台の仕事がしたい」と一念発起。「照明や音響はイベントによって動き方も変わる。上司を見て少しでも多く覚えよう」と意識している」と日頃の業務を振り返る。

いまはとにかく頑張る時期

「ことしは長洲町合併60周年、ながす未来館も開館20周年と記念すべき年でイベントがたくさんある。ひとつひとつ盛り上げていきたい」と話す鈴木さんは自身も9月から始まる「みらい☆カンパニー」という企画を任せられ奮闘している。

五十嵐さんは「ここでは経験を積む機会がたくさんある。舞台技術者としての基礎をしっかりと身につけたい」と意気込んでいる。

ルームシェアをして私生活も共にし、会話はいつも笑顔が絶えない2人だが、初めての土地に来る難しさも感じているという。それでも「成長するために覚悟をもつてここへ来た。簡単には帰れない」と熱意に満ちた表情で語る2人の長洲町での物語は始まったばかりだ。

キラリ輝く人 を探しています

長洲町で頑張っている人または世界・全国で活躍する長洲町出身の人を広報ながすで紹介しします。詳しくはお問い合わせください。

☎ まちづくり課 企画調整係
☎ (78) 3239

印刷／フロッピー印刷

※この広報紙は地域環境にやさしい植物油性インキを使用しています。